



佐賀大学教職大学院 院生ライフレポート



2022年
9月号

～探究実習が実施されています～

教職大学院では、必修科目である探究実習に取り組んでいます。具体的には、教職大学院1年次(M1)である現在、学部卒業生等学生(以下ストマス)は基盤実習、現職教員等学生(以下現職院生)は異校種実習または関係機関実習、学校変革基盤実習が設けられています。各学校や地域との連携・協働のもと、授業参観や授業実践、自身の研究の観点を深めることを主として実習を行っています。また、2年次(M2)には、学校課題探究実習、学校変革試行実習があります。今回は、各コースで実際に実習に取り組んでいる様子や感想等インタビューを行いましたので紹介します。

現職の授業実践探究コースの院生は、異校種実習に20日間行くことになっています。私は高校籍ですので佐賀県の中学校で、今まさに実習の1週目が始まったところです。次回から授業を受け持つのですが、私が研究テーマに据えている「協働学習, ICT 利活用, ディベート」をテーマに授業がしっかりできるよう授業研究に取り組んでいます。私の実習校には英語の学習に意欲的な生徒が多く、久しぶりに授業ができることを楽しみにしています。(現職院生 異校種実習)

ストマスの基盤実習では、実習校において授業参観や授業実践だけでなく、学校行事への参加、朝の会や帰りの会、給食指導、部活動指導などあらゆる面で教師としての様々な仕事を体験することができました。また、実習校では他の教科の授業参観をすることもでき、全学年の生徒の様子を把握することができました。来年度はこの基盤実習の経験を活かし、自身の研究につなげられるよう努めていきます。(ストマス 基盤実習)

子ども支援探究コース(生徒指導・教育相談系)では、児童相談所と教育支援センターにおいて関係機関実習を行っています。児童相談所では各課の強い連携体制の必要性を感じました。また、教育支援センターでは、通所生の思いを大切に安心して過ごすことができる配慮がなされています。学校と関係機関との連携の在り方や学校の立場として、日々の子どもの観察やかかわりの積み重ねがとても大切であり、今後の研究につなげていきたいと思います。(現職院生 関係機関実習)

教育経営探究コースの関係機関実習は、学校以外の学校関係機関において実習を行っています。佐賀県教育庁特別支援教育室では、佐賀県の特別支援教育の現状と教育施策について行政と学校運営のつながりについて学ぶことができました。また、障害者支援施設の実習では、施設の福祉サービスを実践的に体験しました。実習を通して特別支援学校におけるキャリア教育の在り方について考えることができました。今後の研究や教職生活で生かしていきたいと思います。(現職院生 関係機関実習)